

学校だより



平成30年度 第42号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H30.12.11

12月の俳句 みな空へ落ちてしまえり冬木立 星野 早苗

先週末からめっきりと冷え込み、ついに冬本番となりました。そして、12月もう半ばに近づき、冬休み前に生徒が学校に登校する日も限られてきました。冬休み中には年も変わり、3年生の私立高校の受験も行われます。平成30年を振り返るとともに新しい年のスタートがよいものとなるように1日、1日を大切に過ごしたいと思います。保護者の皆様には、本校の教育へのご理解、ご協力をご感謝するとともに、新しい年がすばらしいものとなりますようお祈りいたします。

1 学校評価のための保護者アンケート、協力ありがとうございました

11月に学校評価のための保護者アンケートを実施しました。お忙しい中、協力をいただきありがとうございました。これからの学校経営に反映できるようにさせていただきます。できるだけ学校から情報を発信していますが、保護者の生の声を聞かせていただくことも参考になります。アンケート時にかかわらず、南河内中学校をよくするためのご意見がありましたら、直接学校まで、またはPTA本部の役員の方等に連絡をいただくとありがたいです。

学校だよりを利用し、全体の傾向や保護者の皆様のご意見を紹介していきたいと思えます。また、本年度より学区内の各小学校と質問の項目をそろえたため、前年度との比較はありません。今回は学習関係についてお知らせします。

アンケートの評価は A…そう思う B…ややそう思う
C…あまりそう思わない D…ぜんぜん思わない
E…わからないの5段階です。他に無回答もあります。

- | | | | | | | |
|---|-------------------------|-------|-------|-------|-------|------|
| 1 | お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。 | A 11% | B 47% | C 27% | D 8% | E 6% |
| 2 | お子さんは、学習することが楽しいと感じている。 | A 9% | B 37% | C 40% | D 9% | E 4% |
| 3 | お子さんは、授業では積極的に学習している。 | A 15% | B 42% | C 28% | D 6% | E 8% |
| 4 | お子さんは、読書が好きで本をよく読んでいる。 | A 16% | B 22% | C 36% | D 25% | E 0% |
| 5 | お子さんは、毎日学習をしている。 | A 32% | B 35% | C 21% | D 9% | E 1% |

学習について肯定的な意見もありましたが、今後の学校の課題として要望があった点をまとめて紹介します。

- ・漢字や英単語などの小テストを増やし、確実に覚えられるようにしてほしい。
- ・朝の読書など、読書活動を積極的に進めてほしい。
- ・授業内容がわからないので、学校の授業の質をより高いものにしてほしい。
- ・進学校への進学率をアップさせてほしい。
- ・学校全体の学力向上のために学校としてできることを考えてほしい。
- ・学力向上のために、毎日少しずつ宿題をだしてほしい。

学力の向上は、学校としても課題として教員の研修や、それぞれの教材研究を重ね、努力しているところです。学習指導部を中心に、教員の授業力の向上を図っています。宿題については、本校では自主学習の充実をはかっているところですが、各教科で検討していきます。読書については、朝の集団読書などの取り組みを行い、読書好きな生徒を増やす努力をしています。貴重なご意見をありがとうございました。

2 南河内地区一周駅伝

12月9日(日)、南河内地区一周駅伝が行われました。気温は低かったものの、天候には恵まれました。本校からは野球部が参加し、中学生の部5位の成績で完走しました。お疲れ様でした。



南河内一周駅伝



1年総合的な学習

4 薬物乱用防止教室の感想

11月30日(金)に行われた薬物乱用防止教室の感想を1・2年生から紹介します。

薬物はこわいとわかっているけれど、実際に劇で見ると病院に行ったり、親にも暴力をふるってしまったり、いろいろとこわいことが薬物だと学びました。劇では、先輩が「いい香りがして、集中力がアップするよ」と言って、主役の人をだましていたが、先輩でも大人でもさそわれてもOKは絶対にしない。薬物は1回飲むとクセになってしまう、そして飲み続けると最悪死んでしまう可能性が高いということがわかりました。絶対に「持たない」「使わない」「近寄らない」この3つを守る。絶対に薬物をやらない。

薬物乱用防止啓発演劇を見て、薬物を勧められたときには勇気をもって断ることがわかった。いくら仲のいい友達でも、やってはいけないことは勧められても断る。他にも、たばこやお酒を勧められたときも同じように勇気をもって断られるようにする。薬物を勧められてなかなか断れずにいたときには、大人の人に相談することが大切だということがわかった。薬物をアロマなどと言ったり、勉強に集中できたりダイエット効果があると言って勧める人がいるということもわかった。もし、薬物を勧められても、勇気をもって断るよう心がけていきたい。

今回の薬物乱用防止教室では、実際の話をもとに作られたということで、普段より緊張感をもって見たり聞いたりすることができました。教科書やテレビなどで見たり聞いたりする「1回だけなら…」という思い込みは本当に危険だということを感じました。危険ドラッグや大麻はアイスなどといった別名で売っていたり、勧められたりすることがあることがわかったので、そういうことによく気を付けて生活しようと思いました。さらに演劇では細かいところまで演じていたので、わかりやすく見やすかったです。この薬物乱用防止教室を通して、あたためて薬物に気をつけようと思いました。

今日、薬物乱用防止教室で学んだことは、仲のいい先輩に自分にプラスになるような言葉が言われても、悪いものには手を出さないようにすることです。演劇では、先輩にうその言葉がかけられてそれにのってしまい、思わず薬物に手を出してしまっていました。だまされて薬物などの悪いものに手を出さないようにしようと思いました。そして、大麻などの薬物に手を出してしまうと、入院することにもなり、ひどいと死に至る可能性もあるので、そういったことにならないように、今日言われたことを、しっかりと気をつけたいと思いました。そして、1回確認することも大切だなと思いました。

1年1組 海老原康介

1年2組 伊澤 心

2年1組 増田 優斗

2年2組 秋山 大